

果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ)のフェロモン トラップへの誘殺が、県内すべての調査地点で確認されています。

1 作物名 果樹類(りんご、なし)

2 発生現況

- (1) 5月下旬(誘殺期間:5月中旬～5月下旬)のフェロモントラップ調査(地点数:4)において、果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ)の越冬世代成虫の誘殺が確認された。うち1地点では、ツヤアオカメムシの誘殺も確認された。(表1)
(フェロモントラップ調査結果:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/trap.html>)
- (2) 令和6年11月から令和7年3月の気温は平年と比べて概ね高かったため、越冬個体数が多くなったと推測される。
- (3) 一部のほ場では、チャバネアオカメムシやクサギカメムシの飛来が確認されている。また、幼果への被害が確認されたほ場もある。

表1 果樹カメムシ類フェロモントラップ調査結果
(5月中旬から5月下旬までの誘殺数。4地点ともりんごほ場に設置)

調査地点	チャバネアオカメムシ (頭)	クサギカメムシ (頭)	ツヤアオカメムシ (頭)	誘殺期間 (日)
白石	11	1	0	14
亘理	16	15	3	14
色麻	9	12	0	15
登米	7	3	0	14

(参考) 果樹カメムシ類フェロモントラップ調査結果
(トラップ設置した4月上旬から5月下旬までの累積数)

調査地点	チャバネアオカメムシ (頭)	クサギカメムシ (頭)	ツヤアオカメムシ (頭)	誘殺期間 (日)
白石	12	2	1	46
亘理	17	25	3	48
色麻	9	21	0	48
登米	9	66	0	46

3 防除のポイント

- (1) 果樹カメムシ類の活動には高温が好適である。向こう1か月は平均気温が高いと予報されており、ほ場への飛来が多くなると予想される。
- (2) 山林、特にスギやヒノキ林に近接するほ場では、被害を受けやすいので注意する。
- (3) 果樹カメムシ類は、春季から秋季まで長期間にわたってほ場に飛来する。
- (4) 摘果作業時にはほ場内を注意深く観察し、被害果実を見つけ次第摘果する。

- (5) 果樹カメムシ類は、りんごやなし以外の果実も加害するので注意する。
(6) 有袋栽培では、果実の肥大によって袋に密着すると袋の上から吸汁されることがあるので注意する。



写真1 チャバネアオカメムシ(左)、クサギカメムシ(中央)、ツヤアオカメムシ (右)



写真2 果樹カメムシ類によるなし被害果(左)
加害部の下の果肉はスポンジ状になる(右)

《お問い合わせ先》

宮城県病害虫防除所

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

TEL:022-275-8982 FAX:022-276-0429

E-mail:byogai@pref.miyagi.lg.jp

★宮城県病害虫防除所から『メルマガ』で
発生予察情報の発表をお知らせしています★



宮城県
病害虫防除所



メルマガ
登録フォーム